

右之原に菖草有、免絲子、茜根、車前草、忍冬、紫胡、山茨菰、麥門冬、天門冬、苦參、覆盆子。

谷 地

一、葭谷地 村の南二町十九間に有、南北二町五十七間、東西六間、葭鳥、里鴨住す。

堰井出水

一、毘舍聞どろ 村の南一町五十間にあり、幅五間半、原二つ有、其一同郡西麻生村の西北に湧出る大清水なり。又一は向羽黒山下より取用する水也。伝て云ふ、昔此淀に木仏の毘舍聞水底より浮び出て玉ふ。此処の者取上げ当村の多聞院に安置す。年曆不詳因之淀を毘舍聞どろと名く。此より西北へ流れ、鷺林村を経て藜川に入る。小雑喉、小海老あり、真鴨、小鴨、時に随て住す。

一、村野原に有所の鳥、雀、青鷺、五位鷺。

一、米一斗八升を出して逆瀬川山に入て薪を伐る。

貞享二年書上げ

一、会津郡寺堀村

出新田四町南隔有、家並軒住す。田舎道八里

一、鎮守富士権現、祭礼九月九日下荒井より社家来祭。

相殿 雷神 稲荷

一、鎮守御嫌にて三間梁の家不造、井不掘。

一、菩提所真言宗多門院高老石三斗九升二合寄進す。

一、葭野、村南に二カ所有、此御役金考分二朱宛上納。

一、逆瀬川へ米壹斗八升宛年々出、柴を取。

一、漆役木数八十一本分有、蠟燭上納而不足分代納。

一、中荒井へ代七百匁と相場米二斗宛年々出、大川舟橋渡